

第5期北九州市障害福祉計画・第1期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート

担当部局

保健福祉局 障害福祉部

成果目標

(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

計画(P)
↓
実施(D)

目標値

1 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置について

○令和2年度までの目標

令和2年度末までに当事者や保健・医療・福祉従事者を含む様々な関係者が情報共有や連携を行うための新たな協議の場を設けること

【目標設定の考え方】

精神障害のある人の数が年々増加し、精神保健福祉行政へのニーズが高まっている。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築するため、保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じ、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市との重層的な連携による支援体制を構築する必要があると考え、設定。

2 精神病床における入院患者について

ア 精神病床における1年以上長期入院患者数

○令和2年度末までの目標値

令和2年度末の1年以上長期入院患者数 65歳以上	1,250人以下
令和2年度末の1年以上長期入院患者数 65歳未満	766人以下

【目標設定の考え方】

地域の精神保健医療福祉体制の基盤を整備することによって、一年以上長期入院患者のうち一定数は地域生活への移行が可能になることから、国が提示する推計式を用いて、本市の令和2年度末の精神病床における一年以上長期入院患者数を目標値として設定。

イ 精神病床における早期退院率

○令和2年度末までの目標値

入院後3ヶ月時点の退院率	61%以上
入院後6ヶ月時点の退院率	83%以上
入院後1年時点の退院率	90%以上

【目標設定の考え方】

地域における保健、医療、福祉の連携支援体制が強化されることによって、早期退院が可能になることを踏まえて、令和2年度の精神病床における入院需要（患者数）及び、地域移行に伴う基盤整備量（利用者数）を見込み、入院後、一定の時点における退院率の目標値を設定しました。

計画(P) ↓ 実施(D)

活動指標(内容)

○活動指標等の一覧 [見込：各年度の月平均、実績：各年度3月の月間利用実績]

			H30	R1	R2
居宅介護・重度訪問介護同行援護・行動援護・重度障害者等包括支援	利用者数	見込	1,989人	2,094人	2,204人
		実績	2,012人	2,003人	2,030人
	利用時間数	見込	41,929時間	42,757時間	43,630時間
		実績	43,867時間	45,164時間	50,334時間
生活介護	利用者数	見込	2,925人	2,965人	3,006人
		実績	2,913人	2,905人	2,938人
	利用日数	見込	57,233人日	58,015人日	58,817人日
		実績	58,476人日	61,166人日	65,067人日
自立訓練(生活訓練)	利用者数	見込	196人	204人	212人
		実績	160人	167人	203人
	利用日数	見込	3,603人日	3,970人日	4,374人日
		実績	3,168人日	3,175人日	4,119人日
就労移行支援	利用者数	見込	394人	412人	431人
		実績	346人	366人	383人
	利用日数	見込	6,589人日	6,890人日	7,208人日
		実績	5,987人日	6,836人日	7,220人日
就労継続支援(A型)	利用者数	見込	987人	1,039人	1,093人
		実績	965人	1,000人	1,055人
	利用日数	見込	19,836人日	20,881人日	21,981人日
		実績	19,700人日	21,307人日	22,440人日
就労継続支援(B型)	利用者数	見込	2,244人	2,397人	2,561人
		実績	2,374人	2,565人	2,662人
	利用日数	見込	38,985人日	41,858人日	44,941人日
		実績	40,643人日	48,066人日	49,755人日
短期入所(福祉型)	利用者数	見込	529人	613人	711人
		実績	487人	450人	384人
	利用日数	見込	3,190人日	3,664人日	4,207人日
		実績	2,752人日	2,815人日	2,621人日
短期入所(医療型)	利用者数	見込	114人	150人	198人
		実績	78人	65人	60人
	利用日数	見込	495人日	608人日	746人日
		実績	444人日	398人日	334人日
自立生活援助	利用者数	見込	100人	108人	116人
		実績	0人	0人	0人
共同生活援助	利用者数	見込	1,243人	1,367人	1,504人
		実績	1,243人	1,347人	1,441人
計画相談支援	利用者数	見込	8,100人	8,600人	9,200人
		実績	8,394人	8,636人	9,020人

			H30	R1	R2
地域移行支援	利用者数	見込	45人	50人	55人
		実績	20人	31人	23人
地域定着支援	利用者数	見込	80人	85人	90人
		実績	50人	45人	39人

評価(C) ↓ 改善(A)	H30年度	<p>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p> <p>1 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置について</p> <p>新たな協議の場の設置については、関係団体・関係者の意見を伺いながら、設置に向けた検討を進めており、平成31年3月には、市の附属機関である「精神保健福祉審議会」で地域包括ケアシステムについて意見交換を行いました。</p> <p>2 精神病床における入院患者について</p> <p>ア 精神病床における1年以上長期入院患者数【H30年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上 1,552人 (R2年度末目標 1,250人以下) ・65歳未満 703人 (R2年度末目標 766人以下) <p>イ 精神病床における早期退院率【*H29年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院後3カ月時点 62% (R2年度末目標 61%以上) ・入院後6カ月時点 82% (R2年度末目標 83%以上) ・入院後12カ月時点 90% (R2年度末目標 90%以上) <p>*北九州保健医療圏(北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町)の集計値(今回より厚労省の調査結果の公表方法が変更され、本市単独で退院率を算出することができなくなったため。)</p> <p>平成30年度は、関係者に向けてピアサポーターを交え、入院患者の地域移行に関する研修の実施や、措置入院患者の退院後支援を行うなど、地域移行の進展に向けた取り組みを行いました。</p>
		<p>協議会等意見 【評価等に対する意見】</p> <p>特になし</p>
		<p>改善(A) 【次年度における取組等】</p> <p>令和2年度は、関係団体・関係者から意見を伺い、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた、新たな協議の場の設置を目指します。</p> <p>また、精神科病院及び相談支援事業所、行政等の関係機関の職員を対象とした、地域移行に関する研修会や、措置入院患者の退院後支援など、地域移行の進展に向けた取り組みを継続実施します。</p>

評価(C) ↓ 改善(A)	R1年度	<p>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p>	<p>1 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置について</p> <p>新たな協議の場の設置については、既存の会議体を活かして立ち上げたいと考えており、関係者の意見を伺いながら、その設置に向けた検討を進めています。</p> <p>2 精神病床における入院患者について</p> <p>ア 精神病床における1年以上長期入院患者数【R1年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上 1,508人 (R2年度末目標 1,250人以下) ・65歳未満 678人 (R2年度末目標 766人以下) <p>イ 精神病床における早期退院率【*H30年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院後3カ月時点 61% (R2年度末目標 61%以上) ・入院後6カ月時点 78% (R2年度末目標 83%以上) ・入院後12カ月時点 85% (R2年度末目標 90%以上) <p>*北九州保健医療圏(北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町)の集計値(今回より厚労省の調査結果の公表方法が変更され、本市単独で退院率を算出することができなくなったため。)</p> <p>令和元年度は、関係者に向けてピアサポーターを交え、入院患者の地域移行に関する研修の実施や、措置入院患者の退院後支援を行うなど、地域移行の進展に向けた取り組みを行いました。</p>
		<p>協議会等意見【評価等に対する意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉等の連携は現状でもかなりやっていると思う。ただし、環境要因に不安を持っている精神疾患の方もいるので、うまく進めていかなければと思う。
		<p>改善(A) 【次年度における取組等】</p>	<p>次年度は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた新たな協議の場を既存の会議体を活かして立ち上げたいと考えており、関係者の意見を伺いながら、その設置に向けた検討を進めます。</p> <p>また、精神科病院及び相談支援事業所、行政等の関係機関の職員を対象とした、地域移行に関する研修会や、措置入院患者の退院後支援など、地域移行の進展に向けた取り組みを継続実施します。</p>
評価(C) ↓ 改善(A)	R2年度	<p>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p>	<p>1 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置について</p> <p>新たな協議の場の設置については、付属機関の北九州市精神保健福祉審議会を活用して立ち上げたいと考えており、関係者の意見を伺いながら、その設置を進めました。</p> <p>2 精神病床における入院患者について</p> <p>ア 精神病床における1年以上長期入院患者数【R2年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上 1,587人 (R2年度末目標 1,250人以下) ・65歳未満 651人 (R2年度末目標 766人以下) <p>イ 精神病床における早期退院率【*H30年6月末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院後3カ月時点 61% (R2年度末目標 61%以上)

		<ul style="list-style-type: none"> ・入院後 6 カ月時点 78% (R2 年度末目標 83%以上) ・入院後 12 カ月時点 85% (R2 年度末目標 90%以上) *北九州保健医療圏(北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町)の集計値 (今回より厚労省の調査結果の公表方法が変更され、本市単独で退院率を算出することができなくなったため。) <p>令和 2 年度は、相談事業所へピアサポート活動の紹介やピアサポーターの募集、措置入院患者の退院後支援を行うなど、地域移行の進展に向けた取り組みを行いました。</p>
	<p>協議会等意見【評価等に対する意見】</p>	<p>地域包括ケアシステムにおける発達障害のある子どもから大人までの支援、並びに拠点づくりを行っていくことが課題と考える。</p>
	<p>改善(A)【次年度における取組等】</p>	<p>本市では、発達障害のある人のライフステージを通して一貫した支援体制の構築について、「北九州市発達障害者支援地域協議会」で検討しています。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへ反映できることはないか、引き続き検討してまいります。</p> <p>令和 4 年度は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場としての北九州市精神保健福祉審議会を活用して、関係者の意見を伺いながら、普及啓発の推進（精神障害者への理解）に力を入れたいと考えています。</p>